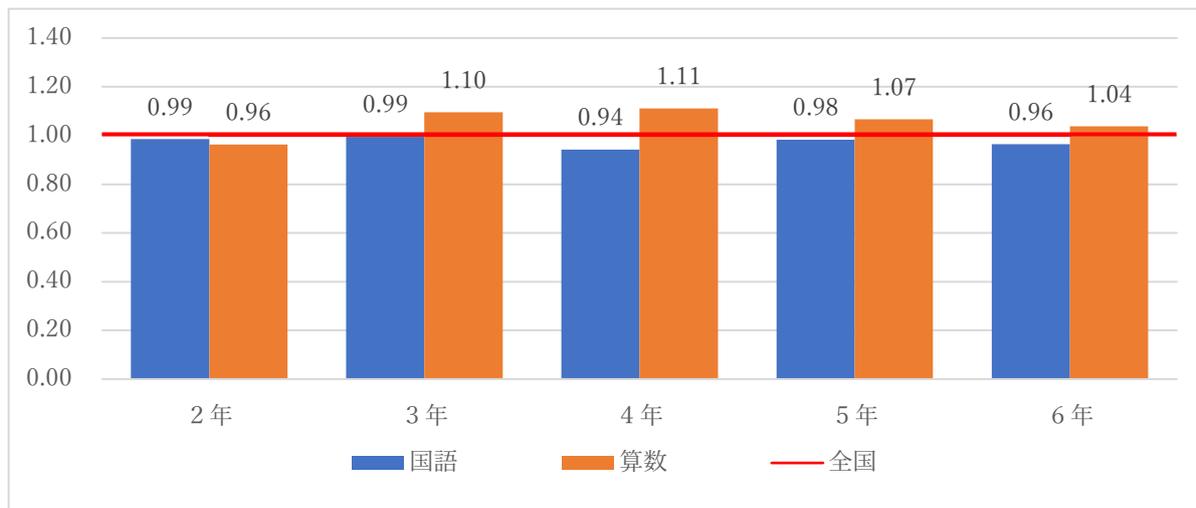


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第二中学校区 池田小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	観点別で見ると「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」は平均以上の学年が多い。学ぶ力の基盤となる「知識・技能」の力を取りこぼさないような授業に取り組む。
	算数	繰り返し練習に取り組んだ項目の定着が見られる。問われている意味を理解し、イメージして最後まで思考を繋げることに課題が見られるので、既習事項を活用する問題にも取り組んでいく。
全国学力・学習状況調査	国語	漢字については、自主学習を通して自分で学ぶ経験から力がついてきているが、漢字と言葉と意味の繋がりに課題がある。今後は、言葉を調べながら学習する習慣を身に付けさせる。
	算数	既習内容を活用して取り組む力がついてきているが、情報量が多い問題では資料の読み取りに課題がある。教科を超えて、必要な情報を読み取りまとめる（要約）学習に取り組んでいく。
	質問紙	家庭学習や読書の時間に関する質問の回答が全国平均より下回っており、中学校に向けて、読書と家庭学習の習慣を身に付けることができるよう学校全体での取組を進めていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

- ・寝屋川方式の学習を基に、毎回の授業に対して「真心の授業」を実践する。
- ・校区学力部会で各種学力テスト及び質問紙等の分析を行い、結果と課題を共有する。
- ・分析結果を利用した課題克服の手立てを共有し、主体的な学習者の育成をめざす。
- ・家庭学習の定着と自主学習の推進に取り組む。
- ・校区3校の公開授業を実施し、9年間のカリキュラムに基づく教科指導の充実を図る。

【学校】

「つながる授業づくり」を研究テーマとして、ねやがわスタンダードを基に学校全体で授業改善、学力向上に取り組んでいる。放課後学習や懇談時学習の実施による学習保障や、算数では3～6年生で学習状況に応じた分割授業を実施し、きめ細かな指導を行っている。また、ディベート学習を通して考える力の向上を図るとともに、家庭学習に関しては宿題に加え自主学習ノートの指導にも力を入れ、自ら学ぶ姿勢の育成をめざしている。